



元町だより

令和7年度
12月号

実際に体験すること

文京区立認定こども園元町幼稚園

園長 前田 宏子

街の中はイルミネーションが点灯し始め、街路樹の葉も色が変わってきました。冬の足音がもう、聞こえてくる季節となりました。子どもたちの動きも太陽の光があるときは園庭に集まり、風の冷たさを感じるときは保育室で遊んでいます。自分たちで季節を感じ、温度を感じ、遊ぶ場所を選ぶことができるようにすることは大切なことだと考えます。つい大人は天気予報を見て「今日は寒くなるから・・・」と情報の中で話しがちですが、子どもが実際に感じる感覚を大切にしていきたいと思います。

11月中旬に3、4、5歳児はバスに乗って、新宿御苑に遠足に行きました。遠足という言葉一つに、わくわくする要素がいっぱい詰まっています。数日前からなんとなくそわそわしている3歳児のAさん。「園長先生、明日の明日の明日に僕たち遠足に行くんだよ」「バスにも乗るんだよ」と興奮気味に話し掛けてきました。3歳児にとってバスに乗って出かけることは今回の遠足が初めてです。楽しみな気持ちが体全体からあふれていました。

当日は寒さが心配されましたが、晴天で遠足日和でした。遠足には各学年、ねらいをもって参加します。発達に合わせたねらいのもとに御苑の中を散策しました。それぞれの学年がこの時期ならではの自然の変化を存分に感じる事ができました。葉の紅葉を見ては「黄色の葉っぱと赤い葉っぱがある!」「こんなに大きな葉っぱがあった!」「小さい葉っぱもあるよ」と自分が見たり、拾ったりした葉を手にして、思ったことを言葉にして伝え合っています。落ち葉の上を歩くとガサガサと音がします。それは歩いた人にしか分からない感覚です。私は落ち葉の上を歩くことが大好きで、落ち葉がいっぱい落ちてると歩かずにはいられません。また、どんぐりが落ちている場所に行くと、「わあ～、いっぱいある!」と大興奮の声とともに一斉に地面に張り付くように拾い始めました。一粒ずつきれいな形のどんぐりを拾う子もいれば、とにかくたくさん集めたい!と必死の様子で集めている子もいます。大きさを比べたり、「帽子付き」のどんぐりだけを集めたりと子どもの様々な姿がありました。拾ってきたどんぐりや葉っぱは大事に持ち帰ってきました。各保育室で遊びに取り入れて使っています。どんぐりのごちそうを作ったり、リースを作ったりしています。自分たちが興味をもって集めたものを遊びに取り入れることで秋の自然がより身近に感じると思います。

先日、八ヶ岳で森の案内人として活動をされている小西貴士さんにインタビューする機会がありました。そのお話の中で、大学生が子どもたちと森で過ごしたエピソードを聞きました。子どもが川で拾った石を手のひらにのせて「きれい」と言っていることを大学生は体がかがめて気持ちにそって話を聞いていたそうです。しかし小西さんはここで「圧倒的に足りない」ということおっしゃいました。「どうして、自分も同じように石を手のひらにのせなかったのか」と。石を手のひらにのせるという身体感覚をもつと見える景色が違っているかもしれない。今は情報があふれ、分かったような気になっていることが増えているのではないかというお話がありました。

幼児期は直接体験を大事にする時期です。子どものそばにいる大人の関わり方も問われていると思います。実際に体験することの大切さを今一度考えたいと思いました。

2学期もあとわずかとなりました。様々な行事のある2学期でした。保護者の皆様、地域の皆様に支えられ無事に過ごすことができましたことに感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。来年もよろしくお祈りします。

12月の指導の重点

1歳児(ひよこ組)

ゆり組が収穫したサツマイモを見たり、落ち葉に触ったりし、秋の自然に触れて遊んでいます。最近は周りの子への興味が増ってきて、マイクの遊具を手に持ち「お名前は?」と聞き合ったり、顔を見合わせて笑い合ったりする姿が見られています。必要に応じて仲介しながら、周りの子と同じ場で過ごすことをさらに楽しめるようにしていきます。また、帽子や靴下の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする姿を見守りながら、できた喜びを感じられるようにしていきます。

2歳児(いす組)

園庭で遊んだ後や、食事の前後、排泄後に手洗いをする習慣が身に付き始めています。袖をまくる、泡を付けて手をこすって洗う、タオルで手を拭くなどとポイントを抑えながら手洗いが丁寧にできるようにしていきます。また食事も落ち着いて食べることができるようになっています。スプーンやフォークを使ってこぼさないように食べることや、汚れた時は自分で着替えをするなど、自分でできることを増やしていきます。

3歳児(もも組・たんぽぽ組)

好きな遊びでは友達と同じものを身に付けて、動物やプリンセス、お医者さんなどになりきって一緒に遊ぶことを楽しんでいます。園庭では、教師や友達と追いかけてっこなど、体を動かして遊んでいます。

音楽会では、みんなで一緒に歌う、楽器を鳴らす楽しさを感じられるようにしていきます。好きな遊びの中で楽器を鳴らして遊んだり、リズム遊びをしたりして、楽しみながら活動に参加できるようにしていきます。

4歳児(ばら組・ひまわり組)

戸外では、友達と一緒に氷鬼やかくれんぼ鬼などで身体を動かして遊んでいます。「一緒に〇〇しよう」と友達を誘い合って遊ぶ姿も見られるようになってきました。友達と一緒に遊んだり学級活動に参加したりする中で、必要に応じて教師が仲間になったりやりとりの言葉を援助したりすることで、自分の思いを動きや言葉で表現する楽しさを感じられるようにしていきます。

音楽会に向けて、様々な楽器に触れることを楽しんでいます。歌や合奏で友達と声や音を合わせたりする楽しさを味わい、友達とのつながりやその心地よさを感じられるようにしていきます。

5歳児(ゆい組)

遊園地ごっこでは、様々な友達と関わる中で、友達と思いや考えを伝え合ったり、一緒に協力したりしながら、自分たちで進めていくためにはどうしたらよいのかを考える機会となりました。引き続き、自分の力を発揮したり、友達と一緒に目的に向かって力を合わせたりすることを通して、達成感や満足感を味わえるようにしていきます。

音楽会に向けて、自分たちの歌声や様々な楽器の音色が重なる楽しさや心地よさを味わえるようにしていきます。

年末年始に関心をもてるように学級全体の話題として取り上げたり、2学期末には友達と協力して大掃除を行い、自分たちの生活の場がきれいになった心地よさを味わったりしながら、新年を迎えられるようにしていきます。

【お 願 い】

- ◎ 寒くなってきましたが、子どもたちが気持ちのよい一日のスタートができるように登園時間（申請時間～9:15）を守りましょう。門のインターホンを使用する際は、ネームプレートを提示の上、クラスとお名前を言ってご用件をお伝えください。また、出入りの際はかんぬきの施錠をお願いします。不審者の侵入やお子さんの飛び出しを防ぐため、保護者の方のご協力をお願いいたします。
- ◎ 冬休み中に、カメのココちゃん、セキセイインコのハッピーくん、うさぎのチョコちゃんを預かってくださる方を募集しています。えさやお世話に必要なものは幼稚園からお渡しします。飼い方の説明もいたします。預かっていただける方は、掲示に記入の上、副園長までお申し出ください。
- ◎ 幼稚園ではJRC（青少年赤十字）に参加しています。1円玉募金を行っており、毎月の「赤十字活動の日」に玄関に募金箱を出しているほか、募金箱は常時1階玄関の靴箱上に置いてあります。ぜひ赤十字活動のご協力をお願いいたします。